

2017年8月4日

日本アクティブラーニング学会関西大会
於: インテックス大阪

中堅校の実践 ペアワークからディベートへ

-批判的思考を高める取り組みのための土台作り-

池田靖章(大阪高等学校)

ikedada@osakashs.ed.jp

池田 靖章 (いけだ やすあき)

○著書

「この一冊でわかる! アクティブラーニング」
PHP出版(2016年7月)事例執筆 pp.72-78

「中高生のための『総合的な探究』実践ワークブック」
学事出版(2017年9月1日発売)

○論文

「キャリア教育のアクティブラーニング型授業実践 ～自己有用感を鍵概念として～」

日本教育公務員弘済会大阪支部 教育実践論文(2016年度)

「ディベート学習を用いたアクティブラーニング型授業実践」
日本私学教育研究所紀要第53号(2017年)

地歴公民科

専門は日本史・現代社会・総合的な学習

産業カウンセラーです

本校についての概要

- **大阪高等学校**

大阪市東淀川区にある普通科共学校

学年人数500人超 全校生徒約1700名

- **多様な生徒層** ←授業料無償化による状況変化
学習が苦手な生徒、不登校、母子家庭など

どのような力を持たせたいか
社会を生き抜く力⇒批判的思考

批判的思考(クリティカルシンキング)

定義・・・証拠に基づく論理的で偏りのない思考

- 多面的、客観的にとらえる
- 内省的思考(リフレクション)
- 「相手を非難する」よりも, 自分の思考を意識的に吟味する、メタ認知
- 問題解決や判断を支えるスキル
- 目標志向的
- 学業、市民生活、仕事の実践を支える
- 問い、情報収集、推論、行動決定、問題解決

本校の主要課題

- ①信頼関係を結ぶのが得意ではない
- ②対話よりもネットのほうが楽
- ③授業で発言することが苦手

⇒授業内でコミュニケーション力を高めることが
「主体的・対話的で深い学び」を実現する近道

※Q-Uの数値結果より参照

信頼関係を構築する仕掛け

①クラス担任としての取り組み

- ・行事 ・面談 ・保護者懇談会
- ・通信 ・声かけ etc

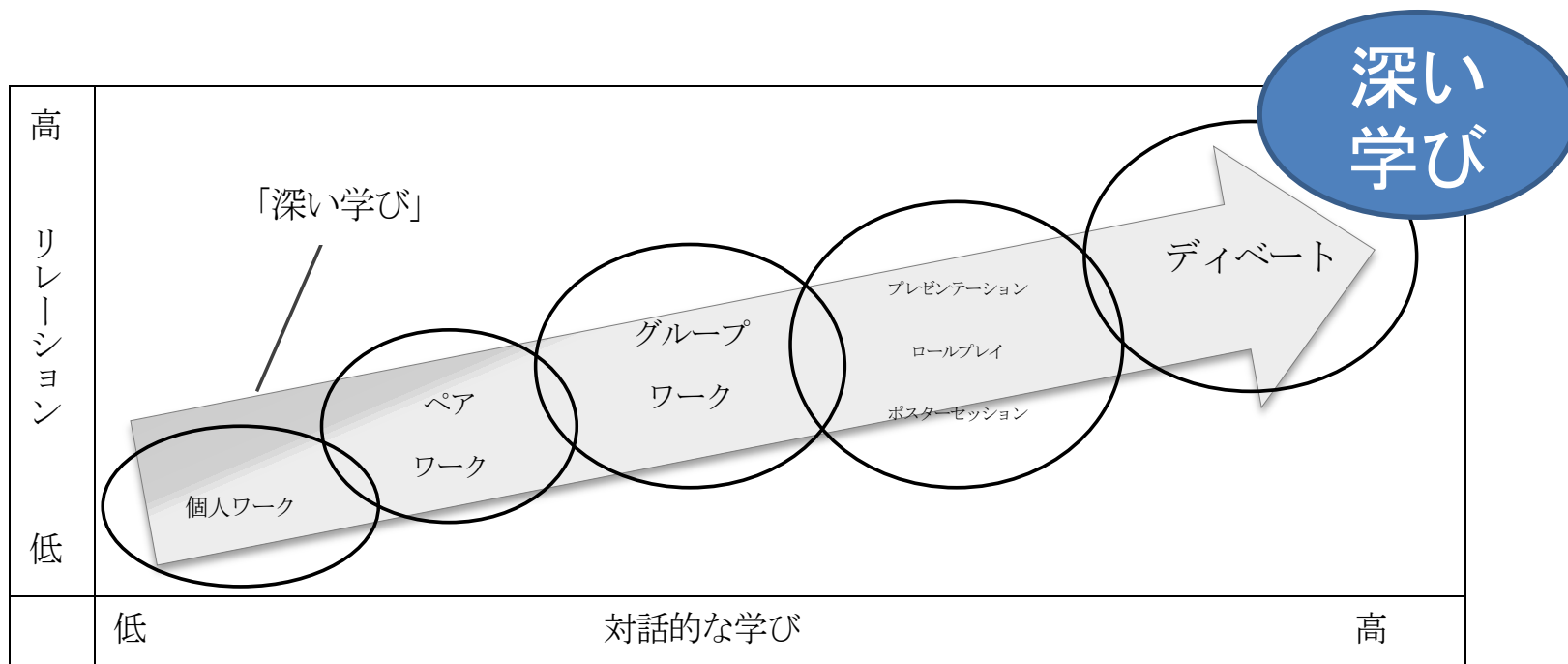
②授業担当としての取り組み

- ・アクティブラーニングを活用

→「授業が信頼関係を構築する場」にする！

⇒批判的思考を高める授業を目指す

まずリレーション(信頼関係)を高めること

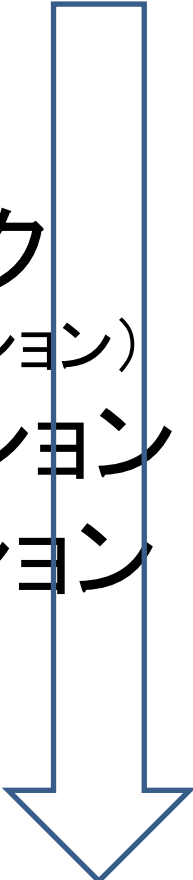


リレーションが高まれば「対話的な学び」が可能となり、より高次の学習方法(AL)が深い学びとなると仮説

現代社会の授業

回数	内容	テーマ	AL
1	青年期とは	自分ってなに？	ペアワーク
2	青年期とは	区切りを発見	グループワーク
3	自己形成の課題	欲求を学ぶ	個人ワーク
4	自己形成の課題	ストレステスト	ペアワーク
5	自己形成の課題	自分らしさとは？	ペアワーク
6	職業生活と社会参加	働くとはなにか？	グループワーク
7	職業生活と社会参加	自己実現	プレゼンテーション
8	哲学と人間	よく生きるとは	ペアワーク
9	宗教と人間	三大宗教の違い	調べ学習
10	古代日本人の思想	自然とカミの関係	グループワーク
11	古代日本人の思想	日本人の思想	プレゼンテーション
12	民主政治の基本原則	当時の市民とは	ロールプレイ
13	民主政治の基本原則	当時の市民とは	ロールプレイ
14	法と支配と法の意義役割	法ってなに？	調べ学習
15	民主政治の基本原則しくみと課題	多数決の原理を体験	グループワーク
16	民主政治の基本原則しくみと課題	多数決の原理を体験	グループワーク
17	民主政治の基本原則しくみと課題	多数決をやってみよう	ディベート
18	民主政治の基本原則しくみと課題	多数決をやってみよう	ディベート
19	世界のおもな政治制度	英・米・中の政治制度	ペアワーク
20	日本国憲法の制定	明治憲法との違い	ペアワーク
21	日本国憲法の制定	日本国憲法のポイント	ポスターセッション
22	日本国憲法の制定	日本国憲法を作ろう	グループワーク
23	自由に生きる権利	自由とは	グループワーク
24	平等に生きる権利	平等とは	グループワーク
25	平等に生きる権利	差別について	グループワーク
26	平等に生きる権利	差別と区別	ディベート
27	平等に生きる権利	差別と区別	ディベート
28	政治機構と国会	政治ってなに？	ペアワーク
29	政治機構と国会	党議拘束は必要？	グループワーク
30	行政権と行政機能の拡大	内閣のシステム	調べ学習
31	行政権と行政機能の拡大	天下りシステム体験	ロールプレイ
32	公正な裁判の保障	民事・刑事裁判を分ける	ペアワーク
33	公正な裁判の保障	裁判を見る	視聴覚映像
34	公正な裁判の保障	裁判員になろう	ロールプレイ
35	政党政治と選挙制度	18歳は成人？	グループワーク
36	政党政治と選挙制度	成人はいつ？	ディベート
37	政党政治と選挙制度	成人はいつ？	ディベート
38	経済社会の変容	マルクスとアダムスミス	プレゼンテーション
39	市場のしくみ	需要と供給をやってみよう	ロールプレイ
40	市場のしくみ	需要と供給をやってみよう	ロールプレイ

☆ALの取り組み
 個人ワーク
 ペアワーク
 グループワーク
 (グループディスカッション)
 プレゼンテーション
 ポスターセッション
 ロールプレイ
ディベート



はじめはペアワークから

- ペアワークから徐々に対話的学びを広げていく。

○教師の仕事

とにかくルールを徹底する！

- ①否定しない ②承認する ③相手に関心をもつ
- ④相手に自分を知ってもらおう 毎回導入にて確認



ルールの徹底

- ①否定しない
 - ・・・なるほど、あーね
- ②承認する
 - ・・・うなずき、あいづち
- ③相手に関心をもつ
 - ・・・質問をする
- ④自分を知ってもらう
 - ・・・①+②=自己開示

毎回の授業内で確認し、ルールを前提とした信頼関係を構築していく。
⇒発言増加

ペアからグループワーク

- 3人のグループから5人グループへ

○教師の仕事

発言できていない生徒
をしっかり観察する！



⇒2学期以降は、グループリーダーが話題をふったりできるように指導していく

発表（承認の場から批判的思考へ）

1学期のグループワーク発表

→基本的には土台作り

⇒承認をもらう場面作り

拍手をもらったり、ポジティブコメントを受ける



2学期以降のグループワーク発表

承認の場からさまざまな資料から批判できるよう、
ルールを前提として、評価・判断をいれたコメントを
する訓練を行う

3学期 ディベートへ

• ディベートとは

①ある特定のテーマの是非について議論

②賛成・反対の立場にわかれて、第三者を説得する形で行うこと

③最終的に勝敗を争う競技形式、第三者によって勝敗を決定し、賛成・反対の役割は、参加者の本来の主張とは無関係に決める。

→ある意見に対して、反ばくすることは容易ではない

⇒信頼関係とルールがとくに重要

ディベート学習の様子

①賛成・反対に分かれる



②グループワーク
(ディスカッション)



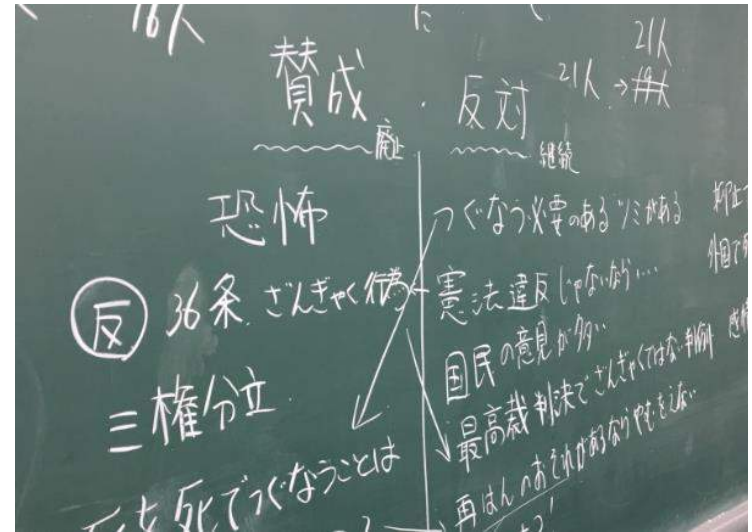
③ディベート



④判定(教師・管理職)



④リフレクション **承認**



リフレクション

自らの意見を公にする

- ディベート学習後、議論をもとに自分の意見をポスターにまとめ、「いいねシール」を貼って承認の輪を広げる



学習効果とAL

- アンケート

調査方法 : 本校生徒への配付回収法

調査対象 : 高校1年生男女(15歳・16歳)

調査有効数:

a 男子21人、女子18人

年間通してAL型授業を必ず授業内に導入

b 男子20人、女子19人

年間通して一斉講義式授業で行う

アンケート質問項目

- ①現代社会の授業に興味関心がある →授業内容
- ②現在の社会情勢に興味関心がある →社会的関心
- ③人の意見に耳を傾けることができる →対話スキル
- ④論理的に説明できる →論理性
- ⑤授業で発言できる →主体性
- ⑥自由記述

⇒2つのクラスで比較(a、b)

評価（定期考査）

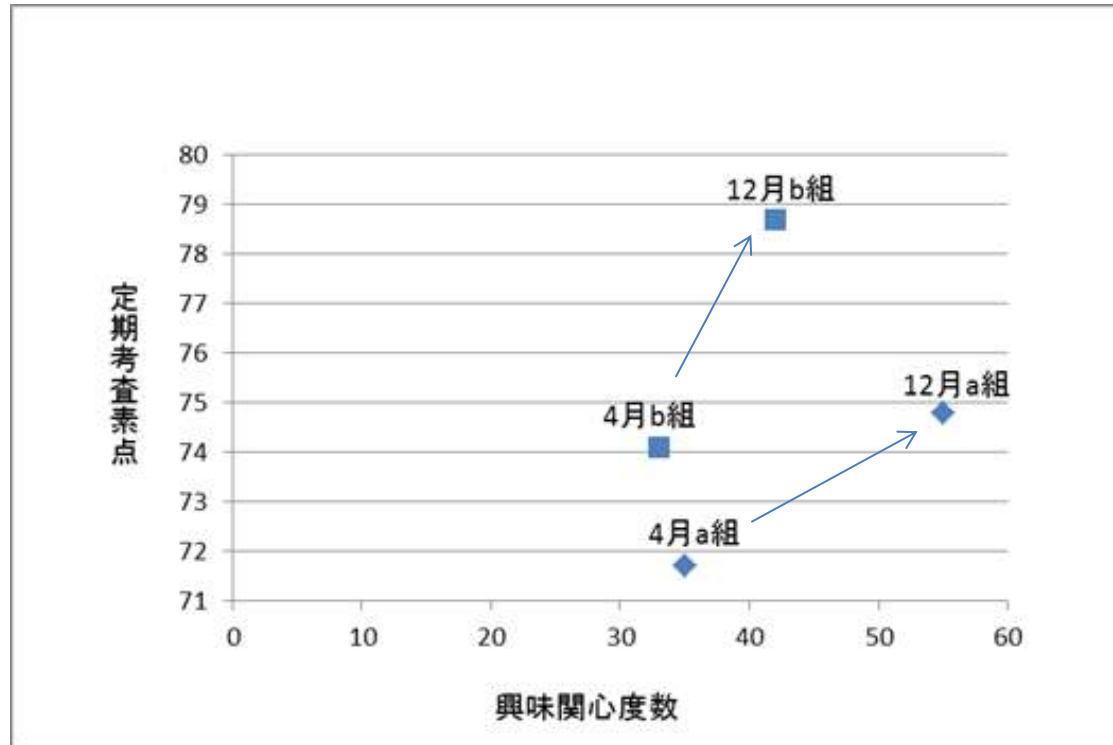
- a男子21人、女子18人
年間通してAL型授業を必ず授業内に導入
- b男子20人、女子19人
年間通して一斉講義式授業で行う

定期考査の推移

定期考査の内容・・・既存のテストを使用

（知識空欄補充・説明的知識80点、論述20点）

興味関心と成績変移のグラフ



結果...定期考査の上昇率はわずかに一斉授業のほうが良かった
しかし、興味関心を高めたのはAL型授業であった

論述問題に見るAL型授業

- 20点の論述問題に関して、

学習方法		1学期期末	2学期期末
AL型授業	a組	平均16.3点	平均16.8点
一斉講義式授業	b組	平均12.7点	平均13.1点

2つの授業方式で、**3.6点**もの差が生まれた。
一方で知識を問う問題に関しても差があることを意味している。→ALか一斉か・・・

中堅校は土台作りを！

- ・ALはリスクを伴うということを教師が理解
※一斉授業よりも傷つく子どもがいる可能性
- ・教師は、ファシリテーターとしての役割と、信頼を一定に保つルールマンとしての役割が必要
- ・中堅校でもアクティブラーニングはできる！

御清聴ありがとうございました！